



高橋 八重典 議員  
政新会

# 問 ヒアリの人的被害へ注意喚起は

# 答 再度の注意喚起と周知が必要



▲防除作業中(ベイト剤「殺虫餌」設置作業)  
(提供:名古屋港管理組合)

**問** 特定外来生物、ヒアリの生活環境被害について以下を問う。  
**答** 市内で確認された特定外来生物の種類は、**環境課長**「ヒアリをはじめ11種類」。

**問** 人体への影響とヒアリ事案の把握はしているか。  
**答** **市民生活部長**「ヒアリに刺されると体質によってはアナフィラキシー症状を起こすことを把握している。本市も防除に取り組んでおり、平成30年8月を最後に、市内でヒアリは確認されていない」。



▲環境省HP  
「特定外来生物ヒアリに関する情報」

**問** 市として、注意喚起と市民からの情報提供の周知は。  
**答** **環境課長**「市ホームページや回覧文書により、注意喚起や周知を行った」。

**問** 現状の注意喚起と周知で十分か。  
**答** **市長**「再度の注意喚起と周知が必要と考える。児童、生徒には、ヒアリをわかりやすく説明した文書での注意喚起も必要と考える」。

**問** 水際対策の検疫強化に立ち上げ

**答** 検疫体制強化を国へ要望

**問** 特定外来生物に対する港湾などの水際対策(検疫強化)について以下を問う。  
**答** 諸外国を見習い、傷口が浅いうちに国に働きかけることが市民、後には国民の安全安心に繋がるのでは。  
**問** 環境省は関係団体へ、コンテナ輸入時の注意事項等について、周知をするように協力依頼をしている。  
**答** **市長**「環境省は関係団体へ、コンテナ輸入時の注意事項等について、周知をするように協力依頼をしている」。

**問** このままの港湾開発を進めれば、当市は特定外来生物の巣となるのでは。  
**答** **市長**「港湾開発を進めていく上で、検疫体制の強化が重要と考える。国へ要望していく」。

**問** 「ヒアリから学ぶ特定外来生物の脅威」の総括を。  
**答** 港湾の特定外来生物の水際対策を、国や名古屋港管理組合へ要望していく。



▶誘引餌(スナック菓子)にたかるヒアリ  
(提供:名古屋港管理組合)